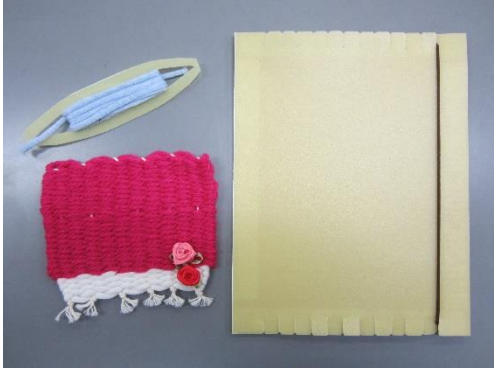


自作教具の活用事例

【作品名】 簡易編み機	【学校名】 日立市立多賀中学校
【活用できる領域・教科等】 自立活動（作業に必要な動作と円滑な遂行）	【制作者名】 木村美香子
【制作の意図】 指先の働きが未発達の子供生徒でも、作業を通して細かな動きや微妙な力加減などを訓練できるようにする。	【使用方法】 織機にはられた縦糸に、組織図を見ながら横糸を通していく。横糸の色や素材を変えたり、ビーズやリボンなどを使って装飾したりしながら、製品（織物）を完成させる。
【制作上の工夫】 織機の板は身近な材料を使って作られており、児童生徒が制作することも可能。縦糸の色を交互に変えていくと、織りの間違いに気づきやすい。 横糸の引き具合をうまく調整しないと織物の幅が徐々に狭まってしまうので、全体を見ながら調整と修正を加えていく必要がある。	【見取り図】 
【写真】 	【使用効果と応用発展】 板のサイズによってコースターのような小さなものから、マフラーやタペストリーなどの大きなものまで製作が可能となる。
【材料・材質・部品等】 塩化ビニル板 ダンボール たこ糸（縦糸） 毛糸や綿ロープ、リボン ビーズやリボンなどの飾り・・・必要に応じて	